

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、目視しないでください。
- LEDにはバラツキがありますので、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していくために6ヶ月に1回程度の溝清・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
- シナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお問い合わせの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお問い合わせの場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号) 電話 0570-055123

受付時間：9:00～17:30
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2019年6月現在)

愛情点検



●この使用の際 このようない 症状が ありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱し。 ●こげてくさい臭いがある。 ●コードに傷や傷みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびきが見られる。
------------------------------------	--

★毎年ご使用の照明器具の点検を！

●使用中	●停止
故障や事故防止のため、定期 スイッチを切り必ず定期点検 に点検、修理を依頼してください。	

安全に関する注意

●開封直後及び運搬時等には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。

点検・交換をおすすめします。(販売部品300、1日10個あたり、年間3000時間点検の場合)

●電源遮断器が常時点灯している場合は、動作が遅くなります。
●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期使用を続けると、まれに、発煙、発火、爆発などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

*お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と
合わせて大切に保管してください。

- <保証について>
- 成形説明書、本体添付パンフレットなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、専科修理させていただきます。
 - 保証範囲は器具本体とLED球及びLEDモジュールは3年間です。
 - ランプ(ED電球等)、グローブ灯管、電池などの消耗品は、対象外といたします。
 - 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の故障となります。
 - 保証範囲は次の場合は対象といたしません。
 - 器具の紛失及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - 器具の洗浄(水洗)、落書き等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、雷害電圧、落雷外の使用環境(電圧等)による故障及び損傷
 - 故障、開閉などに起因された故障や不具合
 - 器具の不適切な保管による故障や不具合
 - 器具の取扱説明書で要求される保守点検を行わないとによる故障及び損傷
- (保証書及び領収書もしくは販売店様発行の保証書のご提示のない場合は、保証は日本国内においてのみ有効です。)
6. 保証書は発行いたしましたので大切に保管してください。
7. 保証書は発行いたしましたので大切に保管してください。

保証期間(お引渡し日より)本体 1年間 安定器・LED電球/モジュール: 3年間

取扱販売店名 工事店名・住所・電話番号

お買上年月日

お
客
様

お名前

ご住所

電話 ()

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ	送り線容量
AD72000L・AD72001L・AD72002L・AD72003L	AC100V	0.07A	4.1W	LED	6A
AD72004L・AD72006L・GD50232L・GD50235L					
AD50596・AD50597・GD50925					

お客様へ

器具の取付けの際、認証工事は工事店・認証店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前に、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上の注意】

<p>警 告</p> <p>この表示を無視して据えた取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。</p>	
<p>! 厳守</p>	<p>器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。一器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。</p>
<p>! 禁止</p>	<p>この器具は一般住宅用防雨・防湿型です。業務用浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。一火災・感電の原因になります。</p>
<p>! 分解禁止</p>	<p>器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。一火災・感電・落下によるけがの原因になります。</p>
<p>! 禁止</p>	<p>器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。一感電・故障の原因になります。</p>
<p>! 禁止</p>	<p>器具を布や紙などでおおって使用しないでください。一火災の原因になります。</p>
<p>! 禁止</p>	<p>器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。一被照射物の焼損による火災の原因になります。</p>
<p>! アース工事</p>	<p>アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。一アースが不完全な場合、感電の原因になります。</p>
<p>! 厳守</p>	<p>器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。一被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。</p>
<p>! マット敷き工法</p>	<p>(一社)日本照明工業会・断熱遮音施工埋込形照明器具SCS形適合品です。マット敷き工法(住宅用人造物織維断熱材JIS A 9521)およびブローリング工法(吹き込み用繊維質断熱材JIS A 9523)で施工された天井に使用することができます。</p> <p>特殊な断熱施工された天井には使用しないでください。一火災の原因になります。</p>
<p>! プローリング工法</p>	<p>器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。一被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。</p>
<p>! マット敷き工法</p>	<p>器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。一火災・感電の原因になります。</p>
<p>! マット敷き工法</p>	<p>器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。一火災・感電の原因になります。</p>

△ 注意

この表示を無視して取った取り扱いをすると
機器を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。



ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。



ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

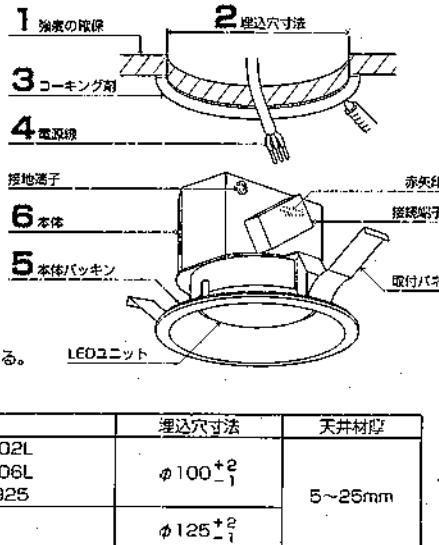


照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年で1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。一放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

*この図は一部抽象化した共通部品図です。

*部品の有無・構造を確認し、不備の時は取付けないでください。



1 施工前の確認

器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する。

2 天井に埋込穴をあける

型番	埋込穴寸法	天井材厚
AD72000L・AD720001L・AD72002L	$\phi 100 \pm 2$	
AD72003L・AD72004L・AD72006L	$\phi 100 \pm 2$	
GD50232L・GD50235L・GD50925	$\phi 125 \pm 2$	5~25mm
AD50596・AD50597	$\phi 125 \pm 2$	

3 取付面が凹凸のある天井の場合

<防雨・防湿型・屋内用高気密形で取付ける場合>

取付面と本体の間にすきまが発生している場合は、コーキング剤で天井面を平面にする。

△注意 タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。

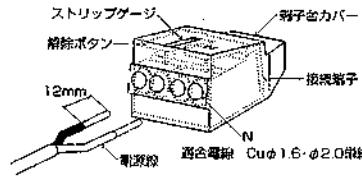
火災・感電の原因になります。または気密性が保たれません。

4 電源線を接続する

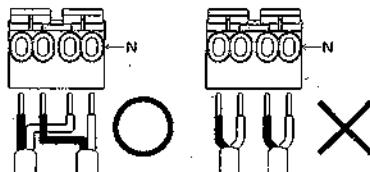
右図のように遮断線の被覆をむき、端子台カバーの上から電源線を接続端子に確実に差し込む。このとき、電源線は器具から離して施工する。また、送り配線は照明器具専用とする。外す時は解除ボタンを押しながら、電源線を抜く。

△警告 防雨・防湿型で取付ける場合は、D種(第三種)接地工事を行なってください。

接地工事が不完全な場合、感電の原因になります。



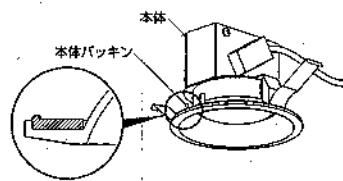
△警告 電源の接続は確実に行なってください。
端子台カバーを外さずに電源線を接続してください。接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。



5 本体パッキンを取付ける

本体パッキンを本体に確実に取付ける。

*本体パッキンが外れていると防水性または気密性が損なわれます。



6 本体を取り付ける

取付バネを矢印の方向に押さえ、本体を埋込穴へ入れ、押し上げる。このとき、埋込穴と器具枠の中心を合わせるようにして確実に取付ける。

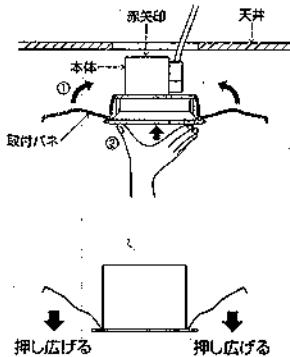
*中心が合わないときと気密性が損なわれます。

<傾斜天井に取付ける場合>

赤矢印を傾斜方向下側にして取付ける。

*配光は傾斜天井対応ではありません。

*傾斜角度は55°までにしてください。

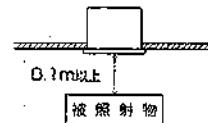


*天井材厚が薄い場合、天井との間にすきまが空くことがありますので、この場合は一度バネを押し広げてから埋込穴に挿入してください。

7 点灯の確認を行なう

■照射距離について

●照射距離により被照射面が変色・変調するおそれがあります。
被照射面との距離は0.1m以上離してください。



! 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雜音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。